

---

## 令和6年度 皇后杯JFA第45回全日本女子サッカー選手権大会東京都予選（高校R）要項

---

1. 目的 東京都内高等学校女子サッカーの健全なる普及と振興・発展を目的とする。
2. 大会名称 「皇后杯 JFA 第 45 回全日本女子サッカー選手権大会東京都予選（高校 R）」
3. 主催 （公財）東京都サッカー協会
4. 主管 （公財）東京都サッカー協会・東京都高等学校体育連盟サッカー専門部女子部
5. 期日 令和 6 年 5 月 3 日～6 月 30 日
6. 会場 駒沢オリンピック公園総合運動場、清瀬内山運動公園、参加校グラウンド、他
7. 参加資格

（1）令和 6 年度に（公財）日本サッカー協会に加盟登録した単独の都内高等学校チームであること。

**★参加選手は令和 6 年 4 月 1 日現在、参加する高等学校の生徒であること**

（2）（1）に加え、他チームに二重登録されていないこと。

（3）各チームは必ず教職員（顧問）の引率すること。教職員でないスタッフのみの引率は認めない。  
但し、学校長の委嘱状があればよい。（公印が押印されていること）

（4）中学高校一貫校は中学生の参加を認める。ただし、中学生のみの参加はできない。

（5）同じクラブチームからは、一般 R 及び高校 R どちらかに 1 チームのみ出場できるものとする。

複数チームの出場はできない。一種（女子）の選手が出場する場合は、一般 R で参加する。

### 競技方法

（1）トーナメント方式による試合を行う。

（2）令和 5 年度第 23 回東京都高等学校女子サッカー新人戦大会の結果を踏まえ、シード校を決定する。

（3）試合時間 70 分（インターバル 10 分） 延長無し PK

（4）十文字高等学校については、関東 U18 女子サッカーリーグの結果により、高校 R は免除される。（関東予選から出場）

### 8. 競技規則

（1）日本サッカー協会「サッカー競技規則 2023/2024」による。

（2）各試合のメンバー表に記載できる選手は最大で 26 名（先発選手 11 名 + 交代要員 15 名）とし、交代要員から 5 人まで主審の許可を得て交代することができる。なお、再交代は禁止とする。

（3）交代の回数における制限は設けない。

（4）本大会において一発退場を命じられた選手の処遇については、東京都サッカー協会女子連盟の規律裁定委員会に委ねられる。

（5）本大会において、警告を 2 回受けた選手（累積含む）は、次の 1 試合に出場できない。

- (6) 競技中に落雷の予兆があった場合、またその他の理由により、審判員又は大会本部の判断により試合を中止する場合がある。なお、試合の再開方法・結果などについては、16～18を参考する。当てはまらない事由については、大会規定に関わらず、大会本部にて決定する。
- (7) 当日の気温等により、クーリングブレイクタイム、飲水タイムともに、キックオフ前および後半開始前に、会場責任者と主審の判断により決定すること。
- (8) メンバー用紙を提出後から試合開始前まで（ウォーミングアップ中など）に、先発選手に怪我や体調不良が起こりその選手を変更したい場合、交代枠を減らさずに先発選手を変更することができる。ただし、変更した選手は交代要員としてベンチに入ることにはできない。
- (9) 試合球は、公共グラウンドはモルテン F5N4900、学校グラウンドはミカサ FT551B-PV（芝）及び FT551B-GR-SBY（土）を使用する。

## 9. 参加申込方法

- (1) 大会事務局宛に **4月17日（水）** までに、グーグルフォームに回答する形で行うこと。締め切り後の参加受付は行わない。
- (2) 『参加申込書』を、総体参加校は都総体の試合時に、都総体不参加校は郵送にて提出する。  
(郵送先 〒131-0043 東京都墨田区立花 4-29-7 都立橘高校 原山 宛)

## 10. 大会参加費

振込期限 4月30日(火)

振込口座 三菱UFJ銀行 渋谷支店 普通 口座番号 3802202

東京都高体連サッカー専門部女子 委員長 梅原聖和

参加費…10,000円

- ※ 個人口座から振込される場合は学校名をはじめに加えること。(**【オジソコウコウカイ】**など)  
振り込み手数料は各校が負担する。

## 11. 組み合わせ抽選会

役員による責任抽選とする

## 12. 表彰

高校代表チーム（2校）には皇后杯決勝 R への出場権を授与する。

## 13. ユニフォーム

- ◆ ユニフォーム（上衣・パンツ・ストッキング）は、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを携行する。ゴールキーパーはフィールドプレイヤーと異なる色を着用すること。また、いずれも審判と同色(黒)または類似色(黒・紺系)の上衣を着用することはできない。

※アンダーシャツは各袖の主たる色と同じ色で1色または、シャツの各袖とまったく同じ色の柄にす

る。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

- ◆ ユニフォーム規定に関する緩和措置は導入しない。
- ◆ 番号は1番から26番までとする。
- ◆ 縞のユニフォームは30cm四方の台地に背番号を10cm四方の台地に胸番号をつけること。
- ◆ 胸番号はあることが望ましい。(関東大会以上は必須)

#### 14. その他

- (1) スポーツマンシップに反する行為は厳に慎み、女子サッカーの品位を高めるよう努めること。
- (2) 下記の場合は不戦敗となる。

- ◆ キックオフ時刻を10分過ぎてもグラウンドに選手がそろわない時(7名未満)
- ◆ 引率者がいない時

- (3) 負傷および事故の責任は、該当チームが負うものとする。
- (4) 控え選手は、ユニフォーム姿の上にビブスを着用しベンチ入りすること。
- (5) 審判員(有資格者)を2名以上帯同すること。(うち1名は18歳以上の高校生でない者とする)

審判員は審判服(上衣・パンツ・ストッキング・色調は黒または濃紺)を着用すること。

準決勝以降の審判は、高体連加盟校の帯同審判員が担当する。全試合第4の審判を割り当てる。(第4審判も審判服を着用すること) スポーツマンシップに反する行為は厳に慎み、女子サッカーの品位を高めるよう努めること。

- (6) 試合開始前について

試合開始30分前までに、メンバー用紙3部と2024年度選手証(KICKOFFから出力できる写真付きの一覧を印刷したもの)を本部に提出すること。写真のないものは無効とする。

※メンバー用紙の選手の順序と選手証の順序は同じにしておくこと。また、メンバー用紙に記載がある選手のみ選手証を提出すること

※選手証を印刷したものがない場合、電子選手証で確認がとれれば出場を可とするが、これは非常時の手段であり、原則として印刷したものを用意すること。

- ② 試合開始5分前を目安に、メンバーチェックを受けること。
- ③ 代表決定戦については試合開始80分前にMCMを行う。(メンバー用紙の提出もMCM時に行う。)

※試合開始10分前までに選手証の提示ができない選手は出場できない。

※追加選手の協会承認が間に合わない場合は、「最新の選手登録・申請状況」・「振込用紙のコピー」を印刷し、日付がわかる状態で本部に提出すること。

#### 15. 大会事務局

東京都立東大和高等学校 梅原聖和 [Masakazu\\_Umehara@education.metro.tokyo.jp](mailto:Masakazu_Umehara@education.metro.tokyo.jp)

東京都立橘高等学校 原山和也 [Kazuya\\_Harayama@education.metro.tokyo.jp](mailto:Kazuya_Harayama@education.metro.tokyo.jp)

品川エトワール女子高等学校 大森健二 [k-oomori@etoile.ed.jp](mailto:k-oomori@etoile.ed.jp)

## 16. 荒天・落雷についての対応

- ① 会場責任者および主審の判断で試合開始時刻の遅延、試合中の中断を決定する。
- ② 試合開始時刻から60分（目安）、又は中断から30分（目安）以上経過しても、回復が見込めないか安全が確認できない場合は、試合を中止する。  
中止後の流れ…試合時間のおおよそ 3 分の 2 以上(後半 10 分～15 分)が過ぎていればその試合は成立させ、残りの試合時間の分の延期はしない。ただし、ベスト 8 以上（予選トーナメントの準決勝以降）については、残りの試合時間の分も最後まで実施をする。  
中断後に延期、再試合となった場合は残り試合時間を行う。記録（選手・スコア・警告・退場等）は、中断時点から引き続きとする。なお、選手の交代は中断時のメンバー表に基づき、交代を認める。（中断時・再試合・再開後合わせて交代人数 5 人まで）
- ③ 中断後に状況が回復し残り試合が可能と判断した場合、原則は中断した試合を優先的に進める。状況により会場責任者、審判団、該当チームで優先する試合を決定する。
- ④ 引き分け時の勝敗を決めるためのPK途中の中止は、コイントスによる抽選（主審が担当）を行い、次回進出校を決定する。
- ⑤ 主審は、中断時の状況を「試合中断・延期に関わる報告書」に記録する。
- ⑥ 中止となった試合以降の当該チーム、審判団等へ順延の連絡をする。
- ⑦ 委員長および事務局へ報告する。

## 17. 熱中症対策について

- ① 原則、JFAの熱中症ガイドラインに沿って試合を行う。
- ② WBGT=31℃を目安とし、会場責任者、審判団、該当チームで試合の実施、中止、遅延の判断をする。
- ③ 熱中症ガイドラインに沿って、飲水タイム、クーリングブレイクを設定する。（クーリングブレイクの時間を延ばす等の措置も可能とする）

## 18. 会場責任者の分担について

会場校は教職員及びチームスタッフを 2 名以上配置することが望ましい。

（1 名のみで試合に該当した場合、会場責任業務等に対応できなくなるため）